

射水市教育委員会10月定例会会議録

開会日時 令和5年10月23日(月) 開会 午後 1時00分
閉会 午後 2時05分

会議場所 市役所3階 会議室301

出席委員

金谷教育長、眞岸委員、宮原委員、野上委員、村上委員

会議事件説明員

久々江事務局長、遠藤事務局次長(生涯学習・スポーツ課長)、六渡事務局次長、星野学校教育課長、高信教育センター所長、酒井学校教育課副主幹、高井学校教育課長補佐、田中生涯学習・スポーツ課長補佐、鳥本生涯学習・スポーツ課長補佐

傍聴人数 なし

会議の要旨

午後1時00分、教育長が開会を宣した。

1 会議録の承認

承認された。

2 各課当の連絡事項および報告事項

(1) 「令和5年度全国学力・学習状況調査」における射水市の結果について
教育センター所長が、資料1に基づき説明した。

(2) 教育委員会行事予定
学校教育課長補佐が、資料2に基づき説明した。

3 その他

(1) 学校教育課長が、第2期射水市教育振興基本計画の進捗状況等について説明した。

(2) 次回教育委員会の開催日時について
11月21日(火)午後3時00分から 市庁舎401会議室

4 議事

(1) 資料1: 「令和5年度全国学力・学習状況調査」における射水市の結果について

【委員】 授業のちょいテクの活用状況を確認してほしい。

【委員】 本市では家庭学習ノートカバーを配付するなど、家庭学習の定着を図っているが、児童生徒が主体的に家庭学習に取り組めるよう、もう一つ工夫が必要かと感じている。

【委員】 児童・生徒質問紙 家で自分で計画を立てて勉強をしているかと 平日学校の授業以外に1日当たりどれくらいの時間、勉強をしているかについて、塾に行っている子ども達もいる。それらも踏まえての分析が必要である。

【委員】 児童・生徒質問紙 自分には、よいところがあると思うについて、本市は「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答している割合が高い。これ

まで、自己肯定感を育てる努力をし、しっかりと取り組んできた成果である。最近の子ども達をみていると、「どうせできない」といった自己否定をする子はいないように感じる。

【教育長】小学生でコロナ禍前の学校生活を知っているのは、現5・6年生しかいない。人とのつながり、友達と一緒に過ごすこと等、日常生活の当たり前が大切であり、幸せなことであると感じてほしい。

【委員】小学校4年生以下の子ども達のチャレンジする意欲・気持ちが低いように感じる。スポーツ少年団の加入状況も少ないのではないか。コロナ禍もあったが、わくわく・ドキドキといった体験不足が影響していると思う。

子ども達には、様々な体験をさせてあげたい。総合の授業で、地域に出向いた活動をすることで喜んでもらえており、誰かのために役に立つとの気持ちをもつことができている。授業の中でも、バーチャルではなく、実体験を伴う活動を大切にしていきたい、考える力、視野が広がる取り組みをお願いしたい。

【委員】学校行事も戻り始めている。様々な体験をしていくことで、子ども達は大きく成長していくので、大切にしてほしい。また、地域や保護者の提案を受けながら、学校行事等を行っていくことで、子ども達自身も地域にかかわってくれるようになると思う。

午後2時05分、議事等が終了したので教育長が閉会を宣した。